

第12回音楽講習会・音楽祭

「ショパンからグレッツキへ 創作の源とインスピレーション」

2011年7月18日～31日

ピアノ・声楽・弦楽器・作曲 マスタークラス

個人レッスン・ワークショップ・コンサート・遠足

芸術監督：アンジェイ・ドゥツキエヴィッチ教授（博士）Prof.Andrzej Dutkiewicz,PhD

秘書：マリア・ノイゲバウアー Maria Neugebauer 電話番号+48 504 822 910

ナタリア・スキエンニク Natalia Sukiennik 電話番号 +48 604 908 722

メール：neugebauer@chopin.edu.pl または info@chopin.edu.pl

ポーランドのワルシャワ・ショパン音楽大学は、第12回音楽講習会・音楽祭「ショパンからグレッツキへ 創作の源とインスピレーション」開催をお知らせします。

「ショパンからグレッツキへ」音楽祭は、世界的な音楽家による個人レッスン、マスタークラス、レクチャー、コンサート、ポーランド国内の小旅行から構成されています。

参加者は、高名な教授による個人レッスンを受けることができます。

これまで「ショパンからグレッツキへ」音楽祭は、11年にわたり開催されてきましたが、常にショパンの心にあった故郷であるポーランドを、じかに触れられる経験は、あらゆる国から訪れた音楽家達に大きな関心を引き起こしてきました。

参加者達は、ショパンからグレッツキにいたる、ポーランドの偉大な音楽家達の心と精神をつかまえたインスピレーション溢れる世界に出会うことでしょう。

このコースでは、ショパンの生家を訪ね、ポーランドの民族伝統を体験する予定です。

受講料：710ユーロ

（「ショパンからグレッツキへ」音楽祭のための全宿泊費、レッスン料、音楽祭内コンサート・レクチャー・ワークショップ料、ポーランド国内の小旅行費を含みます）

*日本語通訳を必要とする場合、別料金で手配可能です。（申し込み時に、通訳が必要であるとご連絡ください）

宿泊：参加者は、ショパン音楽大学と美しい旧市街へ徒歩圏内の、ワルシャワ中心部にある学生寮ジェカンカDziekankaに宿泊することとなります。バスルーム、朝食付きで、ダブル・ルームをシェアしていただきます。

個人レッスン：ショパン音楽大学構内にて行われます。参加者は4回の個人レッスン（各1時間）を受講する事ができ、優秀な参加者には、音楽祭の最後にコンサート出演の機会が与えられます。参加者数には、限りがあるため、早めの申し込みをお勧めいたします。

参加申し込み締切：2011年5月31日

参加申し込み送付先：

The Fryderyk Chopin University of Music, International Relations and Promotion Office

2, Okólnik str., 00-368 Warsaw, Poland

Tel./fax: +48-22 827 83 10

e-mail: neugebauer@chopin.edu.pl or info@chopin.edu.pl

受講料の中から参加登録費として160ユーロを下記にお送りください：

Fundacja Uniwersytetu Muzycznego Fryderyka Chopina

銀行 PKO BP Plac Powstańców Warszawy 4, Warszawa PL

銀行口座番号 PL 37 1020 1013 0000 0102 0021 0062

Swift code: BP KOPLPW

送金時、From Chopin to Górecki と明記して下さい。

コース開催中、参加頂ける項目

- － 個人レッスン（ピアノ、声楽、ヴァイオリン、作曲）
- － ピアノコンサート、室内楽コンサート
- － 「Szymanowski in Memoriam」現代音楽コンサート
- － ワークショップ、講義
- － ポーランド民族舞踊ワークショップ
- － 小旅行、社交パーティー、ピクニック

「ショパンからグレッツキへ」講習会・国際音楽祭参加者の生徒・教師の皆様へ

昨年7月17日から31日にポーランドのワルシャワ・ショパン音楽大学にて開催された第11回目の音楽祭が大きな成功を収めて終了した事を喜んで報告いたします。

この回の音楽祭には、ベルギー、韓国、日本、アメリカからゲストをお迎えしました。

彼らは、ショパンの生家ジェラゾバ・ヴォラ、ワジェンキ公園、そしてショパン音楽大学にて、若手ポーランド人演奏家によるショパン演奏を聞く機会がありました。

ショパン生誕200年で盛り上がった年でしたから、ネイティブのポーランド人ピアニストによるショパン演奏を聞いて解釈を比較するという経験は、とても意義あるものだったことでしょう。

また、新しくオープンしたワルシャワのショパン博物館を訪ねたり、グレッツキ、セロツキ、モリトといったポーランド現代作曲家の作品に出会うチャンスがありました。

「グレッツキからショパンへ」と名付けられたコンサートでは、ショパン音楽大学のステルチンスキ教授、スコチンスキ教授、ブルーベル教授、ドゥツキエヴィッチ教授、そしてカメラータ・ヴィストゥーラ・アンサンブルが演奏しました。

音楽祭の期間中には、ポーランド民族舞踊ワークショップが開催され、どのようにポロネーズやマズルカを踊るかを学んだだけでなく、ショパンのポロネーズ、マズルカの様式をよりよく理解するために、カドゥビンスキ教授によってレクチャーが開催されました。

最も強い印象を残したのは、やはり音楽祭の最後に行われた参加者によるコンサートです。このコンサートのレベルは極めて高いものでした。全ての演奏者が素晴らしい演奏を聞かせてくれましたが、ベルギー出身のピアニストA.Burmistrov、韓国出身のKim Ji Sooの演奏は特筆すべきものでした。私達は、彼らが受講者として参加してくれたことを誇りに思い、全ての参加者のさらなる活躍を祈っています。

第12回「ショパンからグレッツキへ」音楽祭も、昨年と同様に2011年の7月後半に開催されます。弦楽器、ピアノ、声楽、作曲を学ぶ才能あふれる若き音楽家達の皆さん、ロマン派や現代音楽の演奏法と解釈を深めるためにポーランドへ是非お越し下さい。

アンジェイ・ドゥツキエヴィッチ教授